

2019.12.19

vol.82

シネマ・ド・リぶらの コラム・ド・シネマ

映画
を
読む

本日の上映作品 『ビューティフルメモリー』



12月19日 (木)

① 10:30 ~ ② 14:00 ~ ③ 18:30 ~

ロバート・カーライルとマリサ・トメイ共演による恋愛ドラマ。妻を亡くしたパン職人のフランクは、ある日、自動車事故で瀕死の男・スティーブに遭遇。フランクは彼が初恋の女性を訪ねる途中だったことを知り、代わりに彼女に会いに行くことを約束する。

監督：ランドール・ミラー

音楽：マーク・アドラー

出演：ロバート・カーライル、マリサ・トメイ
ジョン・グッドマン

製作：2005年 アメリカ カラー 103分

| | | | |
|--|----------------|-----------------|---------|
| 『映画の畑で四つ葉のクローバーを探して』 | 安田 裕子／著 | 阪急コミュニケーションズ | 778.09 |
| 『勝手にビデオ』ノってけ 200本 | 石川 三千花／著 | 講談社 | 778.04 |
| 『タッチで味わう映画の見方』 | 石原 陽一郎／著 | フィルムアート社 | 778.04 |
| 『シネマ頭脳』 映画を < 自分のことば > で語るための | ロバート・グラッツァー／著 | フィルムアート社 | 778.04 |
| 『追憶のロード・ムーヴィー』 | エスクアイアマガジンジャパン | | 778.04 |
| 『ブローケン・ガール』美しくこわす少女たち | 金原 由佳／著 | フィルムアート社 | 778.04 |
| 『悪女映画コレクション バッド・ガールズ』 | トニー・ターツ／著 | ブルース・インターアクションズ | 778.253 |
| 『メイクアップハリウッド』日本人メイクアップ・アーティストが見た素顔のアメリカ映画界 | 藤原 美智子／著 | 芳賀書店 | 778.28 |
| 『映画でわかるアメリカ文化入門』 | 奥村 みさ／著 | 松柏社 | 778.253 |
| 『今のアメリカがわかる映画 100本』 | 町山 智浩／著 | サイゾー | 778.253 |
| 『アメリカ映画がわかる。』 | 朝日新聞社 | 共同通信社 | 778.253 |

コラム『ビューティフルメモリー』

二つの恋の物語 K.M.

今回上映の作品は、アメリカのランドール・ミラー監督が2005年に製作した『ビューティフルメモリー』です。日本の劇場やテレビでは未公開で、直接DVDなどのメディアで発売された、いわゆるDVDスルー作品なので、監督や俳優はあまり有名ではありませんが、1980年アカデミー助演女優賞受賞のメアリー・スティーンバージェをはじめロバート・カーライル、マリサ・トメイ、ジョン・グッドマンなど、演技派キャストを揃えた作品です。

ネットのユーザーレビューでは、「切なくて、ロマンチックな大人向けのドラマですね」、「とても静かな雰囲気、大人の恋愛というか気持ちの変化を美しく描いている作品、すごく綺麗で好き」、「人生勝ち組には決してわからないドラマ、ただ、そのビターなドラマを軽〜く見せている所がよい!」、「冬の夜に、こういう洒落た映画も、オツなものです」、「ちょっとくたびれた日に見るのにぴったりの、ハートフルなドラマです」など、なかなか好評の作品です。

主人公は、家業のパン屋を営むフランク（ロバート・カーライル）。彼は妻の死の悲しみから立ち直れず、同じように妻に先立たれた男たちが集まる集団セラピーに参加する以外は、黙々と仕事を続けるだけの毎日を送っています。ある日配達に出かけた彼は、ハイウェイで自分の車に追い越しをかけていった車の自損事故に遭遇します。この事故で瀕死の重傷を負ったドライバー、スティーブ（ジョン・グッドマン）がもう一人の主人公です。

彼はフランクに、40年前に再会の約束をした初恋の女性リサに会いに行く途中であったことを告げ、代りに彼女に会いに行くように頼みます。再会の約束の場所はスティーブが幼い頃通って、リサと一緒に踊った社交ダンス&マナー教室でした。先生は娘のミス・ホッチキス（メアリー・スティーンバージェ）に代わりしていましたが今でも健在でした。リサという女性は見つからず、スティーブとの約束は果たせませんでした。フランクはダンスの華やかな世界に圧倒さ

れてしまい、そのまま教室のメンバーとして通うことになります。そして彼は、ここで自分と同じように過去から逃れようともがく美しい女性メレディス（マリサ・トメイ）と出会い、二人はお互いに魅かれ合うようになっていきます。

以後フランクとダンス教室の人々との交流を軸に、二つのラブストーリーが微妙に絡み合って描写されていきます。一つは40年前を起点とし現在に至るスティーブとリサとのライン。もう一つがスティーブとの出会いを起点とするフランクとメレディスのラインです。ただこの作品、実は少年スティーブのストーリーの場面は、監督が昔作った短編映画の映像を生かして、これにフランクが主人公であるストーリーを関連付けて、長編に作り直したものだそうです。ダンス教室に入ってからフランク関連のストーリーと、スティーブの子供の頃のストーリーが交互に展開される構成になっており、必ずしも、時間の経過に沿って重要なエピソードが語られるわけではなく、「きっとこうゆうことだったのだろうな」という、自分なりの想像で補いながら見ていくと、それぞれの人物の人生が少しずつ顕れて、見終わって「そうゆうことだったのか」という全体が見えて来るというタイプのストーリー構成ですから、そのつもりでご覧ください。

「スティーブはどういう生活を送ってきたんだろう?」、「なぜあんな事故を起こすほど急いでいたんだろう?」、「リサはスティーブとの約束を忘れてしまっていたのか?」、「なぜか陰の感じられるメレディスの家族環境は?」、「フランクにセラピーを必要とするほどの悲しみを与えた妻の死は?」と、すべてのことがラストまでにはちゃんと分かります。淡々とお話が進む地味な作品ですが、登場人物が少しずつ幸せになっていき、観終わった心温くなる素敵な映画です。

『オーバーザレインボー』、『.ビギンザビキン』、『オン・ザ・サニー・サイド・オブ・ザ・ストリート』など30曲近くのダンスミュージックと華やかなダンスシーンも楽しめます。

11/28 『キリマンジャロの雪』の感想

・凄い映画でした。迫力満点!! 人生の荒波が次から次へと。生命の重さ、愛の尊さを ずっしり感じました。いつもながら DVD を見終わると、自分の毎日の姿や生き方を見直そうとします。私にとって、生きることの活力剤になっています。さて、私は本年、後期高齢者に仲間入りしました。私の子供の頃、映画はかなり贅沢な娯楽でした。一年に数多くは見られませんでした。でも、時に機会を得て映画館に入ると、多くの人影が息を詰めて画面に魅入っていました。そして、映画の展開により、観客の一喜一憂やどよめきがあり、多くの人の織りなす雰囲気にとっぷり浸りました。そして、映画館を出ても興奮醒めやらず、大御馳走を戴いた満足度でした。今、この「りぶら」で DVD を視聴させていただきますと、つい当時にタイムスリップした気になります。月1回のこの『極上のひととき』を、今後も長く続けていただきますよう切にお願いいたします。

・グレゴリー・ペックの全盛時代の好演がよかった。はるか昔にタイムスリップしました。スーザン・ヘイワード、エヴァ・ガードナーもよかった。もうこんなスバラシイ名画は作れない、見られないと思うと残念です。・アフリカの自然がよく描かれていた。男の人はいつもロマンとか自由とかを求める。女の人はいつも安定とかを求める。いつの時代も変わらないなと思いました。・8年前、夫と訪れたのが南アフリカでした。ガンを患い、それでも最後にどうしても行きたかった彼の願いを叶えたいと、現地で何が起きても、と覚悟して……。それから一年足らずで天国へ召されましたが、いちばん想い出深い旅でした!

・原作がよいから、内容がしっかりあってよかった。映像だけでなく、いろいろな角度から見た人生が、一人の男を通してよく分かった。誰も、あこがれや見えないうものに突き進むが、結局は、果たすところに行くと平凡、または命も終わりになるものらしい。

・キリマンジャロのヒョウは単独行動をしたから死んだ。キリマンジャロへ行った行動作家は女の愛に拘われた。

・ヘミングウェイの本をもう一度読みたくなりました。グレゴリー・ペックもすてきでした。

・ヘミングウェイの生涯を知っていると、一層面白く見られる映画だと思います。

・『老人と海』をぜひ!

・アフリカもスペインもパリも行ったことがないけど、旅した気分です。

・みたこともないアフリカが見られてよかったです。

・動物とのコラボが凄すぎる。よかった。ありがとうございました。

・楽しかった。目がスクリーンにくぎづけであった!!

・人生、がんばらなくても幸せはそこにある!

・ラストが感動的でした。

・ありがとうございました。また楽しみにしています。

・いい映画でしたよ。

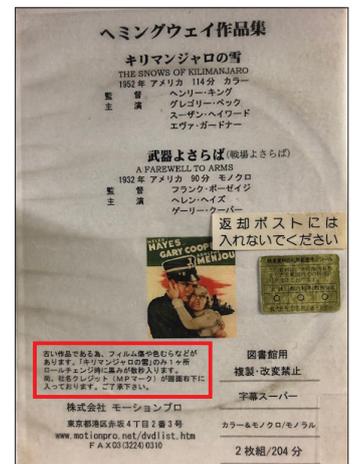
・とてもよかったです。

・創作の映画ですが、一般の観光の宣伝ではなく、フラメンコと申したか、スペインのダンスも本物ですね。モノクロと案内されていましたが、今風のカラーにできる機械でカラー化されたのでしょうか。アフリカの動物も、ハイエナは知りませんが本物に見えました。

→ご案内のまちがいでした。申しわけございません。

・画面右下のMPは何を意味してますか。

→このソフトを販売している会社の社名です。ケースの裏に表記されています。



P 駐車場ののご案内

りぶら東駐車場2をご利用下さい



2020 年度上映会のご案内

2020 年 1 月～ 3 月はホール改修工事のため、次の上映会は 2020 年 4 月以降になります。

※上映作品は変更になる場合があります。

第 83 回

4/16 (木)

① 10:30 ～ ② 14:00 ～ ③ 18:30 ～

舞踏会の手帳



監督：ジュリアン・デュヴィヴィエ
出演：マリー・ベル
フランソワーズ・ロゼー
製作：1937 年 フランス
モノクロ 130 分

第 84 回

5/21 (木)

① 10:30 ～ ② 14:00 ～ ③ 18:30 ～

生きる歓び



監督：ルネ・クレマン
出演：アラン・ドロ
バルバラ・ラス
製作：1960 年 フランス
モノクロ 117 分

第 85 回

6/25 (木)

① 10:30 ～ ② 14:00 ～ ③ 18:30 ～

マイライフ アズ・ア・ドッグ



監督：ラッセ・ハルストレム
出演：アントン・グランセリウス
メリンダ・キナマン
製作：1985 年 スウェーデン
カラー 102 分

注意



上映中の携帯操作は、周りの方の迷惑になりますのでご遠慮下さい。
また、観賞マナーを守り、終了後も明るくなるまで席を立たないように
お願いします。上映開始時間を過ぎての入場は、ご遠慮ください。

サロン・ド・シネマについて

ホールホワイエにて、寄付金でお茶菓子の提供
をしています。映画の上映前にご利用ください。
但し、「夜の部」には開催しません。

りぶらホールにはヒアリング
ループが設置されています。
補聴器を利用されている方は、
Tモードに切り替えてください。
利用できるのは階段席のみです。

